

ミニディスクロージャー誌 2021年3月期

たかしんレポート





ごあいさつ

皆さま方には、平素より高岡信用金庫に対しまして格別のご愛顧お引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この小冊子は、当金庫の経営方針・最近の業績・取り組み等をお伝えし、当金庫へのご理解をより一層深めていただくために作成いたしました。

当金庫は1923年(大正12年)に創業し、一貫して金融業務を通して「地域社会の繁栄に貢献すること」を目的に、協同組織の地域金融機関として歩み続けてまいりました。

『いつもこの街とこれからもこの街と』というキャッチフレーズには、「地域の皆さまに感謝し、ともに新しい未来へと進んでいきたい」との当金庫の思いが込められています。これからも一層地域の皆さま方のお役に立てるよう努力していく所存でございます。

さて、2021年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、景気の先行き不透明感も増しており、厳しい状況が続くと見込まれます。

当金庫は、重点施策として「コンサルティング機能の発揮・拡充」「お客様支援による顧客基盤の維持強化」「聖域なき経費の削減」の3点に注力し、コロナ禍の厳しい環境下、役職員一同全力を尽くしていく所存です。

皆さま方には何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



理事長 吉岡 周

当金庫の基本方針

- 一、当金庫は広く地域社会の繁栄に貢献することを目的とする。
- 一、当金庫の役職員は和協一体目的達成に努力する。

当金庫の経営方針

2020年度は、新3ヵ年計画の初年度として「ビジネスモデル実現のための確固たる経営体力の維持」を掲げ、「経営体力の維持・強化」「コンサルティング機能・お客様支援の強化」「働き方改革」を主要経営課題としましたが、当面は感染症拡大への対応に注力し、この厳しい状況を乗り切るべく、役職員一同全力を尽くす所存です。

【3ヵ年計画経営方針】

「ビジネスモデル実現のための確固たる経営体力の維持」

シンボルマーク



地域の繁栄を支える力になりたいという私たちの思いをシンボルマークに込めました。

咲き誇るサクラの花は地域の皆様を象徴し、それを守り育てるように大きく腕を広げた人は、**たかしん**の頭文字である「T」のかたちでもあります。

体と腕のラインで上へ向かう曲線を描き、一緒に明るい未来へ発展していくイメージとしました。



Profile (2021年3月末現在)

- 創業：大正12年3月16日
- 本店所在地：高岡市守山町68番地
- 出資金：329百万円
- 会員数：22,305人
- 預金残高：3,886億円
- 貸出金残高：1,791億円
- 常勤役職員数：324人
- 店舗数：21店舗

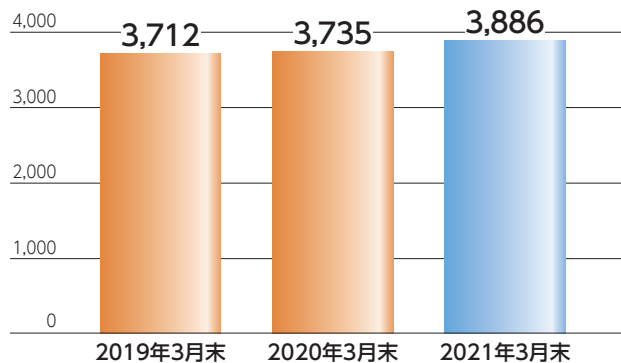
2020年度の業績について

預金積金・貸出金について

預金積金は前期比150億円増加し、期末残高は3,886億円となりました。また、貸出金は71億円増加し、期末残高は1,791億円となりました。

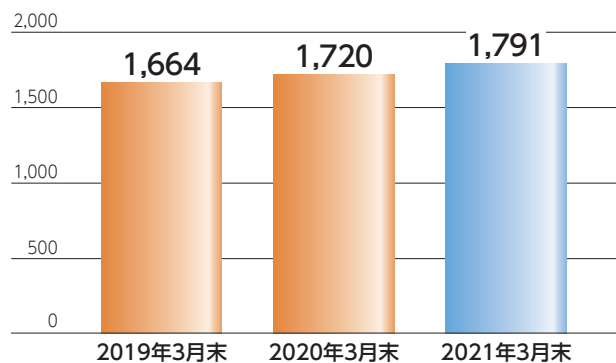
預金積金残高

(単位：億円)



貸出金残高

(単位：億円)

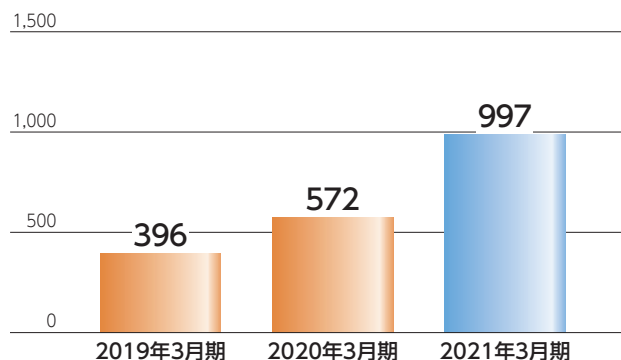


コア業務純益・当期純利益について

損益面では、有価証券利息配当金の増加を主因に資金運用収支が前期比407百万円増加し、また役員取引等収支が前期比2百万円増加、経費が前期比17百万円減少したことから、本業のもうけを示すコア業務純益は前期比424百万円増益し997百万円となりました。一方、当期純利益は、前期比486百万円減益の400百万円となりました。

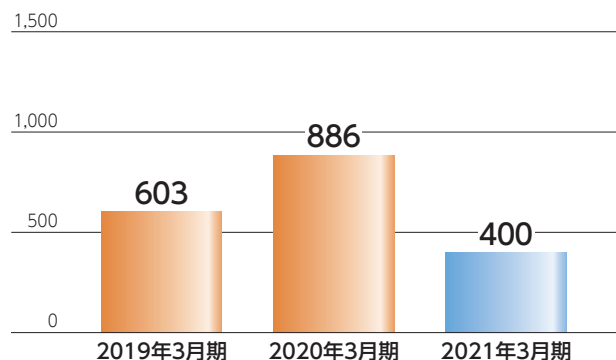
コア業務純益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



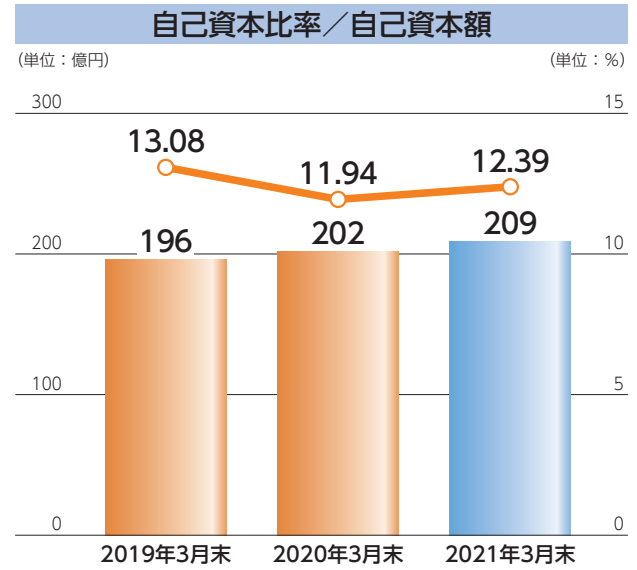
自己資本比率について

当金庫の2021年3月末の自己資本比率は12.39%となっており、国内基準の4%を大きく上回っております。

今後も皆さま方からの信頼にお応えできますように、より一層強靱な経営体力・体質を構築するため精励いたします。

(自己資本比率とは、リスクアセットに対して、出資金・利益剰余金などの自己資本がどれくらいあるのかを示す指標で、金融機関の「健全性」を表すために最も広く用いられている指標です。)

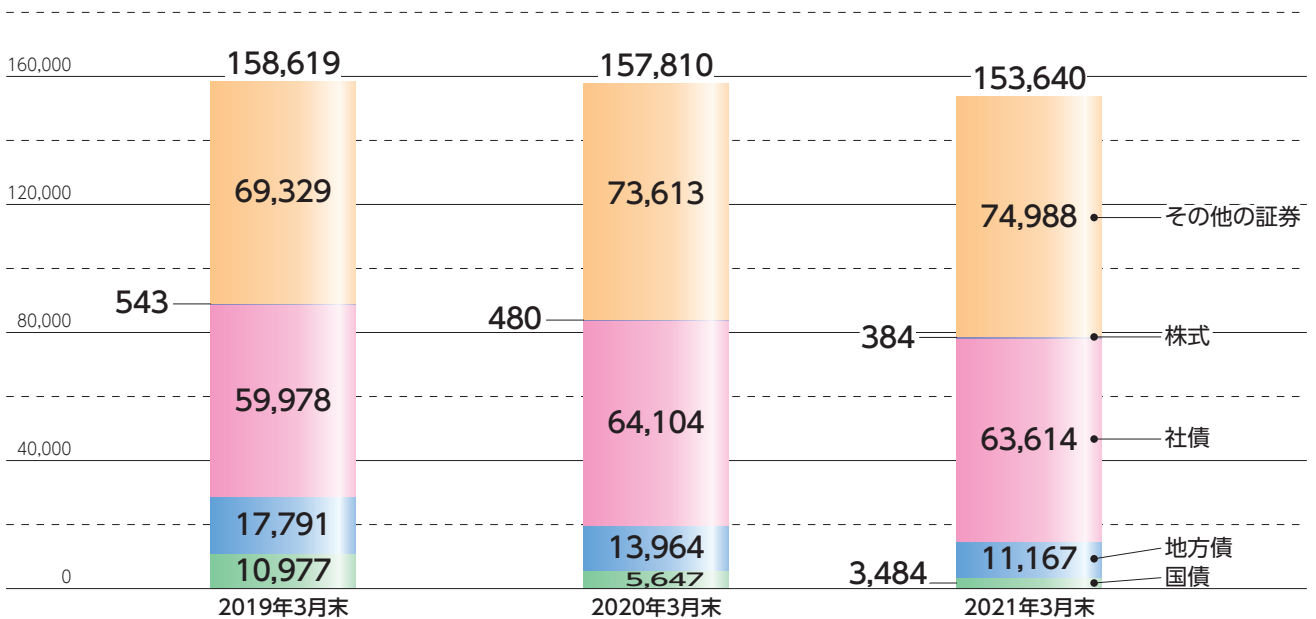
リスクアセット…貸出金や有価証券などのリスクを有する資産を、リスクの大きさに応じて掛目を乗じて再評価した資産金額。



有価証券について

国債や上場企業の発行する債券を中心として資金運用を行っており、リスクを適切にコントロールすべく庫内ルールを設定し運用にあっております。

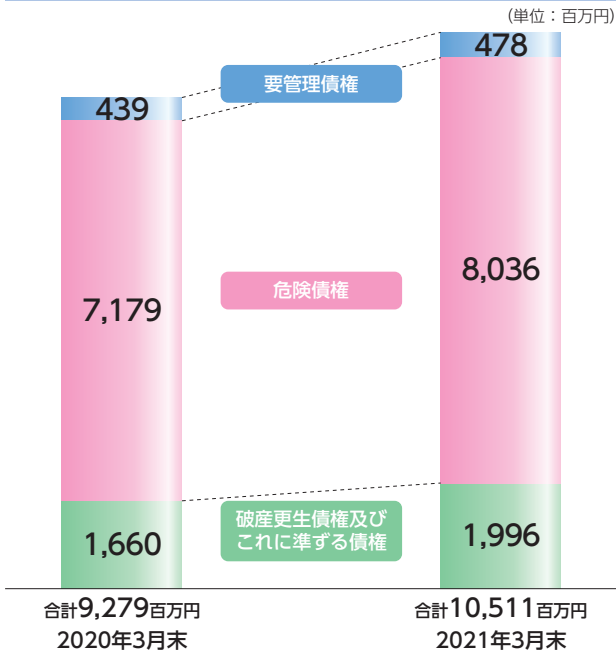
(単位：百万円)



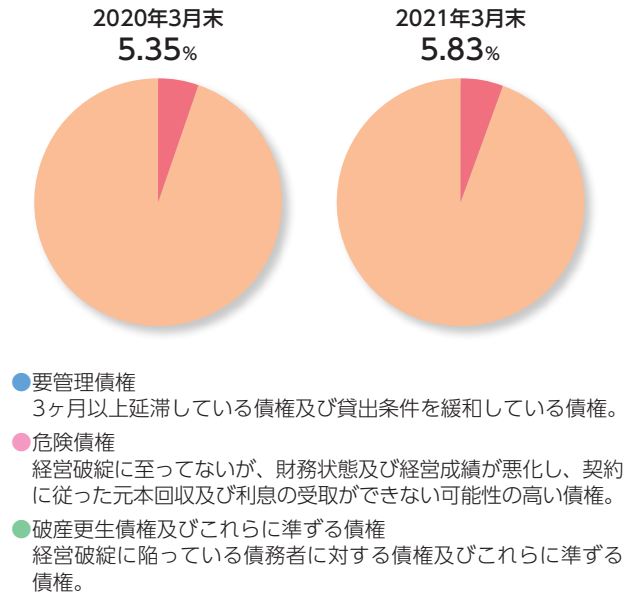
不良債権の状況について

当金庫は、ご融資先に対して経営改善支援を行うなど、貸付債権不良化の未然防止に努めており、また、不良債権処理も適切に進めております。2021年3月末現在、金融再生法に基づく不良債権合計額は、10,511百万円となりました。このうち91.18%は担保や引当金によって保全されています。

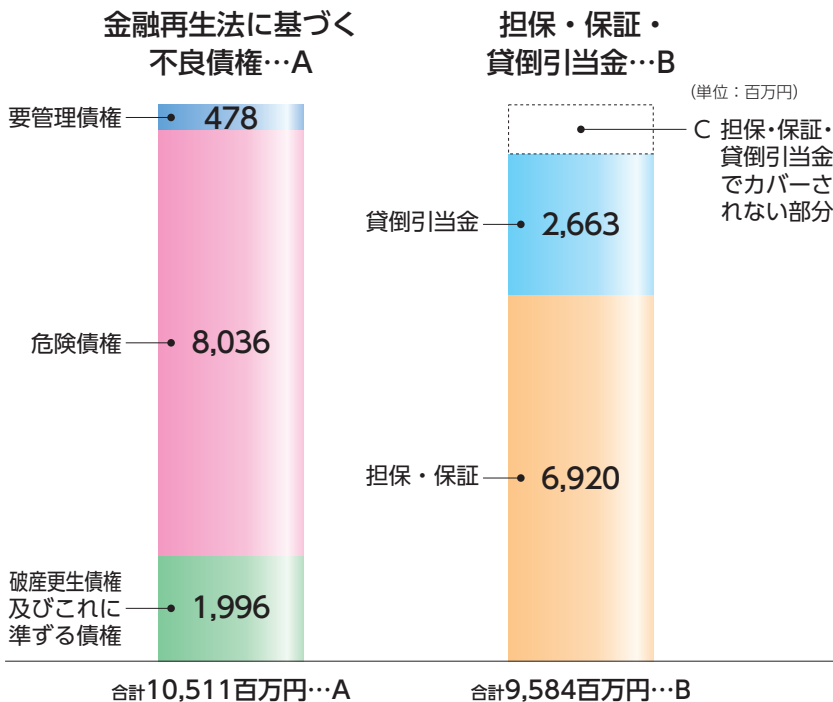
金融再生法に基づく不良債権額の推移



貸出金等に占める金融再生法に基づく不良債権合計額の割合



不良債権に対する備えについて



ご安心ください

金融再生法に基づく開示債権のうち担保・保証・貸倒引当金でカバーされない部分(左図C)が926百万円ありますが、純資産の総額が**229億63百万円**ありますので、備えは万全です。

トピックス



テープカットをする吉岡理事長(写真右から2人目)

美幸町支店新築移転オープン

2021年2月22日、美幸町支店が新築移転オープンいたしました。コンサルティング機能をより充実するためのコンサルティングルームや各種イベントに活用できるセミナールームを設置し、利便性向上のため駐車スペース26台分を兼ね備えた店舗といたしました。

2020年度のおゆみ

4月	1日 「NPO法人 金屋町元気プロジェクト」に対し、金屋町のにぎわい創出に資するため、当金庫 旧西部支店の駐車場を貸出して、ご利用いただくことにいたしました。
6月	12日 第97回通常総代会を開催し、第98期決算内容の報告、剰余金処分案承認の件、定款第15条に基づく会員除名の件、会員の議決権行使に係る定款一部変更の件、店舗統合に伴う定款一部変更の件、理事9名選任の件、監事4名選任の件、退任役員に対する退職慰労金贈呈の件が決議されました。
8月	3日 独立行政法人 中小企業基盤整備機構北陸支部より、当金庫の中小企業・小規模事業者の活躍及び地域の発展にかかる取組に対して、「功労者感謝状」が当金庫に贈呈されました。また、当金庫 吉岡理事長が中小企業・小規模事業者を支援する「中小企業応援士」に委嘱されました。
9月	5日 「たかしんおもしろ年金セミナー」を開催し、年金受給予定者22名の方に、年金の仕組みや手続きを学んでいただきました。 30日 高岡地域地場産業センターの移転に伴い、当金庫が同センター開設時に寄贈した藤子・F・不二雄氏のデザイン画を基に作成された「緞帳」が、御旅屋セリオ3階の「オタヤ子ども広場」に引き続き飾られることになり、「緞帳」の移設に事業協力いたしました。

10月	2日 「よい仕事おこしフェア」実行委員の当金庫と「よい仕事おこしフェア」実行委員会事務局の城南信用金庫が、高岡市と「地域産業の振興及び地域課題の解決に関する覚書」を締結いたしました。 14日 役職員40名が本部棟にて献血を行いました。
2021年 1月	13日 当金庫が、信金中央金庫「SCBふるさと応援団」(寄付金総額10億円、1事業限度額1,000万円)に高岡市が取り組む「まちなか賑わい創出プロジェクト」事業を推薦し認定されました。
2月	22日 当金庫「美幸支店」が「美幸町支店」として新築移転オープンいたしました。コンサルティング機能をより充実させるためのコンサルティングルームや各種イベントに活用できるセミナールームを設置し、利便性向上のため駐車スペース26台分を兼ね備えた店舗といたしました。
3月	8日 長年にわたり地域の皆さまのご支援を賜り営業を続けてきた「長慶寺支店」が「美幸町支店」に店舗統合いたしました。 15日 長年にわたり地域の皆さまのご支援を賜り営業を続けてきた「みずほ支店」が「美幸町支店」に店舗統合いたしました。 24日 お取引先様の販路ご支援の一環として、当金庫主催による「たかしん商談会2021」を本店大会議室にて開催し、82件の商談がありました。

